

---

## 平成23年度予算第二特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

平成23年3月8日

質問者（質問順）

- 1 畑野 鎮雄 委員（自民党）
- 2 坂井 太 委員（自民党）
- 3 麓 理恵 委員（民主党）
- 4 牧嶋 秀昭 委員（公明党）
- 5 太田 正孝 委員（無所々）
- 6 大山 正治 委員（民主々）

消 防 局

# 局 別 審 査

## 1 畑 野 鎮 雄 委 員（自 民 党）

### 1 平成23年度歳入歳出予算について

- (1) 23年度予算編成に当たっての局長の感想を伺いたい。
- (2) 歳入予算が前年度比で増となった理由を伺いたい。
- (3) 歳出予算が前年度比で増となった理由を伺いたい。

### 2 住宅用火災警報器の設置促進について

- (1) 22年度の設置普及の取組について、伺いたい。
- (2) 民間の賃貸住宅への普及の取組について、伺いたい。
- (3) 普及状況の推移について、予防部長に伺いたい。
- (4) 最近の住宅火災の発生件数と住宅火災による死者の発生状況について、警防部長に伺いたい。
- (5) 設置したことによる効果について、伺いたい。
- (6) 23年度の設置普及の取組について、伺いたい。

### 3 A P E C に対する消防本部の対応と成果について

- (1) テロ災害などに備えた具体的な対応について、警防部長に伺いたい。
- (2) 今後の消防活動へ得られた成果をどのように活用していくのか、伺いたい。

### 4 消防団員の確保対策について

- (1) 定年制導入が退団者数に及ぼす影響について、副局長に伺いたい。
- (2) 消防団員数の減少への対応策について、どのように取組んでいるのか、伺いたい。
- (3) 企業に対する具体的な取組について、伺いたい。
- (4) 具体的にどのような協力を得られたのか、副局長に伺いたい。
- (5) 大学生への消防団員募集の取組は、どのような方法を考えているのか、伺い

たい。

(6) 消防団員を確保していく上で、消防団活動に関心を持ってもらうための取組について、伺いたい。

(7) 消防団活動をどのように支援していく考えか、副市長に伺いたい。

(要望) 消防団の処遇改善をはじめ、消防団活動を運営しやすい環境づくりに努めていただくことを要望する。

(要望) 消防職員の業務には、特殊勤務手当の趣旨に合致する業務があり、今後消防職員の特殊勤務手当の必要性、妥当性について十分検討していただくことを要望する。

2 坂 井 太 委員（自民党）

1 平成23年度に取組予定の中期4か年計画消防局事業について

(1) 主な事業と予算への反映状況について

23年度予算に計上された主な事業と計画に対する予算の反映状況について、伺いたい。

(2) 消防通信指令システムの更新について

ア 23年度における消防通信指令システム更新事業の具体的取組について、伺いたい。

イ 現行システムを更新する理由について、伺いたい。

ウ 現行システムで安定的に指令業務を行うための方策について、伺いたい。

エ 新たなシステムにより期待される効果は何か、伺いたい。

(3) 横浜型救急システムについて

ア 22年中のコールトリアージにおける緊急度等の識別状況について、警防部長に伺いたい。

イ 運用開始後、現在まで緊急度等の低い「C」と識別し重篤となった事案数について、伺いたい。

ウ 識別プログラム等の改善状況について、伺いたい。

エ 22年中の救命活動隊が救急空白地域をカバーしたことによる奏功事例はどのようなものがあつたのか、警防部長に伺いたい。

オ 運用開始後2年間を通じて確認された課題は何か、伺いたい。

カ 課題に対する検討経過と見直しの内容について、伺いたい。

キ 見直しを図ることにより期待される効果について、伺いたい。

2 消防ヘリコプターの更新について

(1) 検討委員会で検討した内容を伺いたい。

(2) 最近の国内におけるヘリコプター事故の状況と原因について、空港長に伺いたい。

- (3) 消防ヘリコプターに求められる安全性とは何か、伺いたい。
- (4) ホバリング性能がなぜ安全性の基礎となるのか、空港長に伺いたい。
- (5) 気温上昇によりホバリング性能がどの程度低下し、実際の活動にどのような影響が出るのか、空港長に伺いたい。
- (6) 検討委員会の結論を受け消防局としてどのように考えているのか伺いたい。

### 3 中期4か年計画消防局事業へのサポートについて

中期4か年計画の消防局事業実施に向け、全市的な視点からしっかりとサポートしていくべきと考えますが、副市長の見解を伺いたい。

### 3 麓 理 恵 委員（民主党）

#### 1 地域防災拠点について

- (1) 地域防災拠点関係の主な事業内容と予算額について、危機管理室長に伺いたい。
- (2) 2階以上の空き教室に防災備蓄庫を設置している地域防災拠点の数と、23年度は何校移設するのか、危機管理室長に伺いたい。
- (3) 23年度には、どのような食料を購入するのか、危機管理室長に伺いたい。
- (4) 被災された方に温かい食料の支給が必要と考えますがどうか、危機管理担当理事に伺いたい。
- (5) 取り扱いが難しいという地元の方の声をどう思われるのか、また、移動式炊飯器の取扱方法の指導はどのように行われているのか、危機管理担当理事に伺いたい。
- (意見) 防災資機材の更新の際には、使いやすい資機材の選定についても検討していただきたい。
- (6) 横浜防災ライセンス事業の実績と今後の進め方について、危機管理担当理事に伺いたい。
- (要望) 横浜防災ライセンス事業についても、積極的に取り組み、支援していただくよう要望する。

#### 2 家庭防災員制度の見直しについて

- (1) 市長委嘱を見直す理由について、伺いたい。
- (2) 現在の家庭防災員制度の課題について、予防部長に伺いたい。
- (3) 現在の研修内容と参加状況について、予防部長に伺いたい。
- (4) 見直しにより想定される課題について、伺いたい。
- (5) 想定される課題への対応について、伺いたい。

### 3 防犯対策について

- (1) 費用面も含めたLED防犯灯の導入効果について、予防部長に伺いたい。
- (2) 防犯灯の総数と来年度までの整備灯数について、予防部長に伺いたい。
- (3) 防犯ボランティアに関する基本的な考え方について、伺いたい。
- (4) 地域のボランティア活動に対して、どのような支援を行なっているのか、伺いたい。

### 4 消防団について

- (1) 活動奨励費から報酬の支給に変更した経緯について、伺いたい。
- (2) 消防団の運営に関する今後の支援について、伺いたい。
- (3) 新入団員への被服は早期に貸与すべきと考えるが、いかがか。
- (4) 団員の意見や要望をどのように吸上げ対応しているのか、伺いたい。  
(要望) 器具置場の整備について、消防団活動に支障を生じることの無いよう、計画的な更新を進めていただくよう要望する。

### 5 横浜型救急システムについて

- (1) 22年中の救急隊員2人による傷病者の搬送状況について、警防部長に伺いたい。
- (2) 救急隊員2人による搬送が増加した理由について、伺いたい。
- (3) 救急隊員2人による搬送は、安全管理面で支障を生じていないか伺いたい。
- (4) 現場からの意見を、具体的にどのような方法で聞いたのか、警防部長に伺いたい。
- (5) 現場からの意見は、救命活動隊の運用の見直し案に反映されているのか、伺いたい。

### 6 消防職員の採用及び教育の実施について

- (1) 過去3年間の消防職員の退職者数と採用者数及び採用試験の競争率の推移について、副局長に伺いたい。
- (2) どのような採用募集活動や辞退防止のための取り組みを行っているのか、伺

いたい。

(3) 新採用消防職員に対してどのような教育を行っているのか、訓練センター所長伺いたい。

(4) 新採用職員に対する教育の中で、特に重要と考えるものは何か、伺いたい。

(5) 資格者の養成や知識・技術の伝承はどのように推進しているか、伺いたい。

## 7 職員の執務環境の整備について

(1) 寢室の個室化の状況について、副局長に伺いたい。

(2) 既存庁舎の個室化の対応が進んでいない理由及びその対応について、伺いたい。

(3) 今後の寢室改修はどのように行っていくのか、伺いたい。

(要望) よりよい災害対応をするためにも執務環境の整備は、必要不可欠であり寢室の個室化を含めて、一層の向上を要望する。



#### 4 牧 嶋 秀 昭 委員（公明党）

##### 1 横浜型救急システムによって救われた「命」について

- (1) 119番通報を受けてから、救急隊に出場を指令するまでの時間について、21年とコールトリアージを実施する以前との比較について、警防部長に伺いたい。
- (2) コールトリアージをすることで、重症度の高い傷病者にとっては、迅速な出場に支障がでるのではないかと、伺いたい。
- (3) コールトリアージにおいて、特に重症度の高い心肺停止傷病者を緊急度が高い「A+」として識別する割合について、21年と22年の実績を警防部長に伺いたい。
- (4) 過去5年間の救急隊の現場到着から搬送開始までの活動時間について、警防部長に伺いたい。
- (5) 心肺停止の傷病者に対し、119番受信から、救急隊が現場到着して搬送開始するまでの一連の対応内容について、伺いたい。
- (6) 救急隊が扱った心肺停止傷病者に対するウツタイン様式により算出した生存率について、21年中の全国と本市との比較について、警防部長に伺いたい。
- (7) 消防法により都道府県に義務付けられた実施基準の策定について、神奈川県に先行して検討を始めた理由及び本市の救急隊員による傷病者の観察基準等の策定進行状況について、伺いたい。
- (8) 119番通報時に、通報者が迅速、的確に症状や状況を伝えられるよう、市民による模擬通訓練などが有効ではないかと。
- (9) 救急隊のより早い医療機関への到着に向け、22年度中に試行すると聞いている現場急行支援システム（FAST）の概要と期待する効果について、伺いたい。
- (10) 救急車の適正利用についての市民広報の実施状況について、伺いたい。

## 2 防災計画における災害医療拠点病院について

- (1) 災害医療拠点病院とはどのような役割を持っているのか、危機管理室長に伺いたい。
- (2) 本年1月16日に行われた防災訓練への、消防局の参加状況及び訓練内容を警防部長に伺いたい。
- (3) 下末吉公園の場外離着陸場がどのような許可を受け、また、使用するのに制限などがあるのか、空港長に伺いたい。
- (4) 近隣の離着陸場を探している病院に協力しているような例はあるか伺いたい。
- (5) 場外離着陸場である旨の表示を設置することが必要であると思うが、見解を伺いたい。
- (6) 医療機関におけるライフラインなどの被害状況や患者の受入可否等の情報の把握はどのように実施するのか、危機管理担当理事に伺いたい。
- (7) 災害医療拠点病院と市や区との連携強化が必要だと思うが、見解を伺いたい。
- (8) 災害医療拠点病院と市と区が連携するためには、県の手引きを基に各災害医療拠点病院が作成したマニュアルと本市の防災計画との連携が必要と思うが、見解を伺いたい。

## 3 横浜防災ライセンス事業について

- (1) リーダーが1人もいない拠点、10人以上いる拠点はそれぞれどのくらいあるのか、危機管理室長に伺いたい。
- (2) リーダーを増やして、リーダーが1人もいない拠点をなくすよう取り組んでいくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 市役所を退職する多くの方にも、防災ライセンスリーダーの研修等を受けて地域活動の担い手となるよう、市として後押しすべきと考えるがどうか、大場副市長に伺いたい。
- (4) 「横浜市消防活動支援OB隊」の登録人数について、伺いたい。
- (5) 「地域防災協力員」の登録人数について、伺いたい。

#### 4 緊急情報提供事業について

- (1) どのような防災情報をどのような方法で行っているのか、現状について危機管理室長に伺いたい。
- (2) この新たな事業とはどのようなことを行うのか、危機管理担当理事に伺いたい。
- (3) どれくらいの方々に緊急情報を伝えられるのか、危機管理担当理事に伺いたい。
- (4) その他の携帯電話事業者による同様のサービスに関する動向及び今後の拡大についての考え方を伺いたい。
- (5) この事業の市民への周知はどのように行うのか、伺いたい。

1 救命救急について

- (1) 危機管理監はなぜ消防局の局別審査に出席していないのか、伺いたい。
- (2) 救える命を救いたいと言っているが、救えなかった命の数はどれくらいか。
- (3) なぜ横浜市の救急車は62台なのか、またその根拠は何か、伺いたい。
- (4) 国の指針に基づくと、今の横浜市の人口では何台救急車が必要なのか、伺いたい。
- (5) 国の基準より2台足りないことになるが、県下消防本部の中で保有台数が下回っている本部はあるのか、伺いたい。
- (6) 大都市ではどうか、伺いたい。
- (7) 県下消防本部では、国の基準で算定する以上の台数を保有しているにもかかわらず、横浜はなぜ下回っているのか、伺いたい。
- (8) 財政の問題というが、寄附が5,500万円あり、これで2台救急車を購入したら64台になるのではないか、伺いたい。
- (9) 搬送開始までの時間が伸びているのは、救急システムの欠陥なのではないか、伺いたい。
- (10) 法律では救急隊は3人乗車することとなっているが、違法ではないか。また、救命活動隊が先着しても、搬送できないので、救急隊が来るまで搬送開始ができない。これはシステムの欠陥ではないか、伺いたい。
- (11) 救急車の台数が絶対的に足りない。人口当たりの充足率はどうなのか、伺いたい。
- (12) 救命活動隊のリースは何年までか。なぜこのシステムにこだわるのか、伺いたい。
- (13) 先に現場の意見を聞いているという答弁があったが、現場の救急隊員の多くから、システムを改めるべきという趣旨の手紙をもらっている。どうして結論が現場救急隊員の意見と違うのか、伺いたい。

6 大 山 正 治 委 員 ( 民 主 克 )

1 住宅用火災警報器の設置促進について

- (1) 一戸建て専用住宅に対する戸別訪問の実施状況について、予防部長に伺いたい。
- (2) 戸別訪問の成果と見えてきた課題について、伺いたい。
- (3) 5月31日時点での普及率の把握方法について、予防部長に伺いたい。
- (4) 未設置世帯への普及をどのように行うのか、伺いたい。

2 消防団員の年額報酬の増額について

- (1) 消防団の報酬の支給について、どのような見解を持っているのか伺いたい。
- (2) 他政令市における報酬の平均額はどれくらいか、また、報酬額について他都市の動向はどうか副局長に伺いたい。
- (3) 23年度の年額報酬増額の根拠は何か、伺いたい。
- (4) 年額報酬について、今後どのように考えているのか、伺いたい。